

平成26年度 近畿ブロッククラブネットワークアクション2014

開催報告

日時： [第1日目] 平成26年12月13日（土） 13:00～17:30
[第2日目] 平成26年12月14日（日） 9:00～12:00

会場：和歌山県立医科大学 高度医療人育成センター 5階 研修室
〒641-8509 和歌山県和歌山市紀三井寺811番地1 TEL：073-447-2300

内容：

[1日目]

- ①開会行事
- ②講演「スポーツの効用と傷病への対処法」
- ③ブースめぐり
- ④日本体育協会からの情報提供

[2日目]

- ①分科会
- ②育成プラン2013の実現に向けたSC全国ネットワークの取り組み
- ③閉会行事

【概要】

- ・「府県の枠を超えたネットワーク！近畿はひとつ！」を合言葉に従来の開催県中心の企画・立案ではなく、近畿ブロック全体でクラブネットワークアクションを作り上げていく取り組みを行いました。
- ・クラブネットワークアクション2014の内容については、総合型クラブ近畿ブロック推進連絡会の意見も参考にしながら、実行委員会で承認決定を行いました。
- ・和歌山県立医科大学の上野教授にスポーツ医学の基礎知識について講演いただき、今後の総合型地域スポーツクラブと医科大学・大学との連携の足がかりを学びました。
- ・ブース巡りでは「プログラム力UP」「集客力UP」「組織力UP」の三本柱で参加者選択制をとりました。
- ・分科会では「経営力UP」をめざし、創設支援・自立支援1・2年目のクラブとそれ以外のクラブで内容を分けて、実施しました。

【討議内容：1日目】

【講演について】

『スポーツの効用と傷病への対処法』～脳神経外科医・救急医の立場より

和歌山県立医科大学 教授 上野雅巳氏

和歌山県立医科大学を会場としての開催でもあり、クラブ関係者として必要な基礎知識として<スポーツの効用><スポーツ傷病への対処>等について講演いただきました。スポーツ指導者・クラブ関係者として必要な頭部損傷等スポーツ現場における基礎的知識を得ることができました。



【ブースめぐりにについて】

クラブの段階や興味・関心に応じた7つのブースを設け、1ブースを30分とし、各参加者3～4ブースを巡り、クラブに必要なテーマで学習しました。

○総合型クラブ設立に向けたプログラム作りのヒント《プログラム力UP!》

設立に向けたクラブやキャリアの少ないクラブに対するプログラムのヒントを実技も含め提供しました。

①高齢者プログラム提供『ロコモティブ』：須佐病院 医師 南貴雄氏

角谷整形外科 理学療法士 藤原健太氏

※ロコモティブトレーニングの講義と実技を行いました。自身の身体の年齢を知り、トレーニングしていく方法を学びました。

②壮年期プログラム提供『スロージョギング』：日本スロージョギング協会 顧問 小野隆氏

※スロージョギングの基本について講義がありました。実技では、普段意識していなかった姿勢を意識し、理解を深めていました。

③親子プログラム提供『幼児指導のツボ』：海南市子育てひろばボランティア保育士 小倉礼以子氏

※子どもとの関わり方、手遊び、手作りおもちゃ等の指導について、実践事例を通して、また実際に体験することで、「幼児指導のツボ」を習得されていました。



○クラブ運営の課題解決のヒント《集客力UP!》

広報活動はどのクラブにも必要であり、イベントや教室開催にはチラシ等の効果が集客に直結することから、参加者は意欲的に話を聞き、ワークシートに取り組んでいました。

④プロに学ぶ広報活動：株式会社協和 渡部直樹氏

※すぐに使えるデザインのノウハウについて、ワークシートを用いて学び、広報の目的は何なのか、ターゲットは誰なのかを明確にすることの重要性を再確認しました。



⑤地域活性のヒント：studio304 竹田友香氏

※キャラクター作成の効果やネットの力、実施上の注意点などを聞き、広報活動をさらに広げていく可能性を探りました。



○総合型クラブ発展のヒント《組織力UP!》

クラブのさらなる発展を目指すことを目的に、クラブや地域で活かせるように、効率的な会議の手法を学びました。また助成金についての質疑応答も活発で、多くのクラブ関係者の関心の高さが表れました。

⑥ファシリテーターによる会議力UP：滋賀県立医科大学・聖泉大学非常勤講師 河北純子氏

※ホワイトボードミーティングを実際に体験し、様々な取り組みに対しての意見の出し方等を身につけました。

⑦助成金の知識：NPO 法人くちくまのクラブマネジャー 井谷香氏

※さまざまな助成金の情報や助成金の活用方法や考え方を学びました。



【討議内容：2日目】

【分科会について】

「創設支援・自立支援1・2年目のクラブ」と「その他のクラブ」の2つの分科会に分かれて《経営力UP!》を目指しました。

『①財務・労務。指定管理について』 和歌山県海南市暮らし部環境課 課長 中阪雅則氏

多くの参加者で会場が埋まり、講師の中阪氏はクラブ運営上の必要な知識を余すことなく伝えていました。クラブ運営者としての基礎知識を学ぶとともに、自クラブ運営について考えていました。

『②経営シミュレート』 各府県アドバイザー

創設支援・自立支援1・2年目のクラブが少数であったことから、アドバイザー1人につき参加者2、3人で分科会を行うことができました。パソコンは使用せず、手書きでシミュレーションシートを実際に埋めてもらい、それに対してきめ細やかな助言を行いました。クラブ会費の考え方を基礎から見直す機会となりました。



【SC全国ネットワークより】

『育成プラン2013の実現に向けたSC全国ネットワークの取り組みについて』

SC全国ネットワーク 常任幹事 大原克彦氏

常任幹事会の取り組みとしての「都道府県連絡協議会現状把握アンケート」の結果をふまえ、今後のアクションをについて検討しました。



【まとめ】

今回のクラブネットワークアクションは開催県中心ではなく、近畿ブロックの力を結集した形で開催できました。開催にあたっては、開催県の講師にもご尽力いただき、県立医科大学との連携構築のひとつとなり、開催県としての成果も残しました。また、クラブ間交流としての役割も果たすことができ、各府県協議会間の連携・協力体制も大きな一歩を踏み出しました。課題としては、さまざまな問題を持つクラブの問題解決に向け一層の情報の共有化があげられます。それらをふまえた上で、来年度兵庫県で開催されるクラブネットワークアクションを通して、さらなるネットワーク構築につなげていけるよう府県の枠を超えて協力していく所存です。

近畿ブロッククラブネットワークアクション2014
実行委員長 大原 克彦